



# 移行支援通信



えびな支援学校  
移行支援係  
No.3  
令和3年6月25日(金)

神奈川県も梅雨入りをし、蒸し暑い日が続く中ですが、高等部では前期校内実習が行われました。高等部ではあわせて現場実習もはじまっています。今回の移行支援通信では実習の様子を紹介させていただきます。実習期間、ご協力いただきありがとうございました。

## 高等部：校内実習（6月7～18日）に取り組みました。

### 【肢体不自由教育部門（A部門）】

1年生にとっては、初めての校内実習です。入学してから2ヵ月が経ち、クラスの雰囲気にも慣れてきたところでしょうか。そのような中で校内実習期間中の活動内容は、これまでの授業や学校生活の中で、生徒たちが見せた好きな活動や得意な活動が中心に据えられています。その活動を中心に「もっとこうなったらいいね」という教員の願いが込められた活動内容も盛り込まれています。中には「ちょっと難しいな」と感じる活動もあったかもしれませんが、今まで信頼関係を築いてきた先生たちと一緒に、自分の可能性を一生懸命探している姿も見られました。

2年生にとっては、昨年度を経験して見通しが持てている校内実習です。だからこそでしょうか。校内実習が始まる前から「嫌だな～」「緊張するよ～」という声が聞かれています。「去年だって乗り越えられたのだから大丈夫だよ」という先生の励ましの言葉と共に、自分の限界を一生懸命探している姿が見られました。

3年生にとっては、現場実習をより意識した校内実習の色合いが濃くなっています。これから現場実習に挑む生徒にとっては、実習先でも自分の得意なことをしっかりと伝えられるようにするために、また現場実習を終えた生徒は、実習先で頂いた自分のよさを伸ばすためのポイントをしっかりと教員と共に受け止め学校生活全般に生かせるように、一生懸命取り組む姿が見られました。

各々の生徒の様子の詳細は、日々の連絡帳でご確認ください♪

### 【知的障害教育部門（B部門）】

#### 【1年生】初めての校内実習

高等部一年生にとって、初めての実習が終了しました。学校生活に慣れてきたところで、普段のクラスから離れ、新たな環境や友だちとの関わりとともに、「働く力」を身につける学習を行ってきました。普段の授業とは違う雰囲気、戸惑いを感じることも多かったと思います。課題別のグループに分かれ、運動をして体力をつけるグループ、受注作業やグループワークを通じて自分自身を見つめるグループなど多様な活動を行いました。

また、外部の事業所で行われている部品解体の仕事を頂いたり、学校の様々な先生からの清掃や器具の手入れなどの受注依頼を受けたりして、「丁寧、正確な」仕事を心がけて実施しました。普段の授業とは違う緊張感と責任感を持って、「人のために何かをする」ことを体験できました。それとともに、「人の役に立つ」という喜びや達成感も感じる事ができたのではないのでしょうか。

実習を通じて、働くことの楽しさ、辛さを味わったり、自分にはどんな仕事が合うのか、どんな生活を送りたいかなど、将来を考えたりする機会にもなったと思います。実習で得た経験を、これからの学校生活にも生かしていきましょう。

#### 【2年生】

2学年は5グループのプログラム班を編成し実習を行いました。各プログラム班の内容は、1グループ：個別課題・自立課題（一人で取り組む作業等）、2グループ：ペアワーク・少人数（周りの人と協力して行う作業等）、3グループ：運動・作業（歩行経験、身体運動、指示や手順通りの作業等）、4グループ：ビジネスマナー・自己理解・コミュニケーション（社会人としてのルールやマナー、自分や相手について考える等）、5グループ：日常生活・自立（身辺自立、自由時間、余暇の過ごし方等）となっています。

1学年の校内実習では、生徒の実態を踏まえ、今できて欲しい、今必要なことを中心に行いましたが、2学年ではさらに将来を見据えたプログラム班を編成しました。各グループの教員が様々なプログラムを組み、生徒とともに実習を行っていました。その場ですぐできた、やれたとまではいかないまでも少しずつできることが多くなってきました。この2週間、クラスメイトも担任も変わり、生徒自身大きな負荷がかかったにもかかわらずやりきることができたのも、ご家庭で温かく見守っていただいたおかげです。本当にありがとうございました。



5グループ：日常生活・自立（洗濯物を干す）

### 【3年生】

B部門高等部3年生では、今年度の校内実習を、卒業後に予想される日中生活のシミュレーションや必要な社会生活知識の学習等、「社会へ出る」という意識づけを行う機会として設定しています。

4期生は2年秋の校内実習に際して、学年生徒全員の実態把握を細かく行い、社会へ出た際に必要とされるであろう力を学習課題として、課題の共通している少人数グループでの実習を試行した経緯があります。3年ではその形をベースに、さらに卒業後の生活イメージを仮説として加えたグループ再編成を行って、それぞれの課題に取り組みました。

全グループ共、「卒業したら働く」という考え方を基本に置いて作業を行いました。実は作業以外の活動にグループ毎の特色がとてもよく出ていました。

生徒一人ひとりが2学期の後期実習でさらに積み上げをして、卒業後の生活で役に立つ力を伸ばしていってくださることを願っています。



## 高等部：現場実習はじまっています。

2年生の生徒にとっては、初めての現場実習です。職場体験を経験した生徒は、“働く”というイメージを自分なりに持てて取り組めたかもしれませんね。また、今回の現場実習で初めて“働く”というものを体験している生徒もいることだと思います。色々な過程を経て今回の現場実習に臨んでいると思いますが、おそらく共通して「働くということは職場で働くだけではないのだな」という思いを抱いたのではないのでしょうか。一人ひとりにとっての、“働く”のために必要なものを、今回の現場実習で感じて持って帰ってこられたらとても実りのある現場実習になっていると思います。それをぜひ、一人だけでなくクラスメイトや学校の先生、ご家庭でも共有して生活の中に取り入れていってくださいね。2年生の現場実習は、実習を終えた後が特に大切になります。

3年生にとっては、学校卒業後の生活を意識した現場実習となっていることだと思います。2年生の後期の実習で実習先から頂いたアドバイスをしっかりと持って取り組みましたか？2年生と3年生の実習場所が違って、社会という視点から頂いた貴重なアドバイスだと思います。自分のよさを大切にすることと同じくらい、ぜひ周りの人のアドバイスや支えにも耳を傾けて、そして、吸収してくださいね。3年生では特に大切なことで、自分にとって大きな大きな力になって、自分の描く卒業後の生活を応援してくれると思います。

## ☆事業所 紹介☆

### 「百根の会 りんくの風」(就労移行支援B型)

海老名市杉久保南1丁目1-7

046-200-7450

#### 【作業内容】

外での野菜の収穫管理、メダカの飼育(エサやり、水替え)、屋内での野菜の袋詰め、パステルアートなど創作活動、出荷作業、その他受注作業

野菜の収穫イベントも行っています。イベントとあわせて見学するのもおすすめですよ。

